

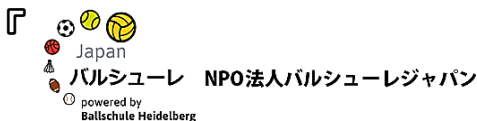


中学校

保健体育

特別支援学級

ドイツ生まれのボール運動遊び



』を参考にした体づくり運動

「パルシューレ」ってなに?!

Ballschule (パルシューレ) は英語に訳すと

Ball school (ボールの学校) という意味です。

ドイツ・ハイデルベルク大学スポーツ科学研究所のロート教授によって
1998年に開設された子どものボールゲーム指導プログラムです。

指導理念

多様な運動やゲームの経験

子どもの発達に適したプログラム



「ダンパー」

楽しいと感じる学習



修正指示のない指導



「あてっこ」

コーンにボールを当てる



「バランス」



使用したボール

中学校特別支援学級で実施

★「楽しい」、「もっとやりたい」

★コミュニケーションスキルUP



プログラムの例

風船キャッチ

風船を打ち上げ、課題をしてから、キャッチする。

課題:

- ・投げる→両手を床にタッチ→キャッチ
- ・蹴る→キャッチ
- ・投げる→座る→キャッチ
- ・投げる→ヘディング→キャッチ
- ・投げる→体タッチ→キャッチ
- ・二人組でラリー（投げる、蹴る、ヘディング）

簡単に楽しい運動

→身体を動かすことが苦手な生徒も参加しやすい

二人組投げ上げキャッチ

二人一組になり、各自1個の風船を持って2～3m離れて立つ。
二人が同時に風船を投げ上げ、素早く場所を入れ替わり相手のボールを床に落とさないでキャッチする。

～レベルアップ編～

全員で円を作って、回る。



二人で作戦会議ができる

→コミュニケーションが苦手な生徒も話しやすい

ダンプカー

二人一組になり、各組でスティックを2本持ち、その上にボールを乗せて運び、かごの中に入れる。これを連続して行う。

～レベルアップ編～

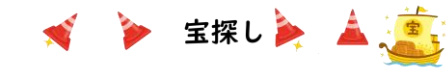
運ぶボールの個数を増やす。



ボールの種類や個数で難易度の調整

→相手に合わせようとする。協調性が育まれる

宝探し



2チームに分かれ、一方のチームはコーンを並べてその中にボールを隠し、もう一方のチームはその間見ないようにして待つ。合図があったら探すチームはコーンを一つずつ開け、ボールを見つけたらかごに入れる。先生にタッチしてから次のコーンを開ける。すべてのボールをかごに入れるまでの時間を競う。

複数人で作戦会議ができる

→コミュニケーションが苦手な生徒のステップUPになる

これがあると安心!

クールダウンスペースの設置

活動場所にクールダウンスペースがないため、簡易的に作成した。



顔文字で体調確認(授業前後)



「なんでこの顔を選んだの?」から
会話が生まれ、生徒理解につながる

「褒める」「拍手」「紹介」

「授業に参加、素晴らしい!」拍手

「集合早くていいね!」拍手

「今の動きいいね!」拍手

「そのアイデアみんなに教えて?」

周りの生徒とつなげることも教員の役目

「今日の授業の流れ」がわかると

生徒も見通しがつきやすい

&

50分の授業を長く感じる生徒には
「どこまで頑張れる?」を事前に確認

こまめな確認が、生徒の
心理的な安定につながる

※詳細は、総合教育センターwebサイト、長期研究員 研究報告(R7)をご覧ください。